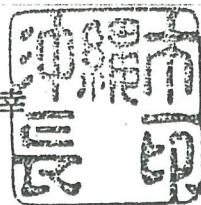


# 丙A第 20 号証

沖市東第 11号  
平成元年3月30日

那覇防衛施設局長  
箭内慶次郎 殿

沖縄市長 桑江朝幸



## F A C 6 0 4 6 泡瀬通信施設保安水域の 一部解除について（要請）

貴職におかれましては、これまで当市の事業や要請等に格別のご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、沖縄市は都市の将来目標像として「国際文化観光都市」を宣言し、その実現に向けてこれまでいろいろな施策を展開してまいりました。しかしながら土地利用の面から沖縄市を捉えた場合、嘉手納基地という広大な基地が市域面積の約38%を占めていることと、地形的にも起伏が激しいという制約条件があり、既存陸域においては、まとまった区域の開発が困難であり、海に求めざるを得ないような状況にあります。

現在市においては、県立運動公園と泡瀬通信施設の間の公有水面を埋め立てて、本市の「国際文化観光都市」のめざす①交流拠点、②観光拠点等の形成を図るためのリゾート開発の計画を行っております。しかしながら当開発予定区域の泡瀬通信施設地先の公有水面には、陸域から500mの範囲で米軍の保安水域が設定されており、保安水域を除いて埋立造成を推進しますと、サンゴ等自然環境の有効利用面から開発区域の形状が細長くなり施設配置計画が困難となります。さらに、護岸等建設費の負担も大きなものがあります。

そのため、当市としては、開発計画上、当該保安水域を含めることは不可欠であり、このことによって当該事業の開発効果も大きく、また迅速に推

進できるものと確信するものであります。

つきましては、当市の事業計画にご理解を賜り、当該保安水域の一部を解除してくださるよう要請致します。

1. 施設名 F A C 6046 泡瀬通信施設

2. 解除要請区域(図) (別添図のとおり)

3. 周辺の状況 米軍用地と一部住宅地

4. 解除目的 埋立後、ゴルフ場、ホテル等リゾート施設の誘致

5. 解除水域面積 908,000m<sup>2</sup>

添付図書

1. 位置図及び保安水域区域図

2. 事業計画書及び計画図

3. 断面図

4. 鳥瞰図